

# 千歳市第2期 みどりの 基本計画を つくりました



計画書・概要版

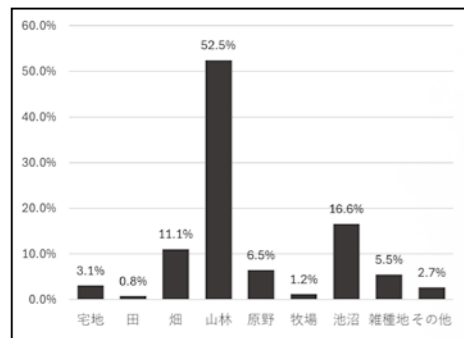
都市における緑地の適正な保全と緑化の推進を総合的かつ計画的に行うための、まちづくりの指針となる計画です。

- ・計画期間・・・20年間（令和8年度～令和27年度）
- ・対象とする《みどり》・・・公園、緑地、公共広場、道路の植樹帯および植樹樹、街路樹、森林、水辺地など

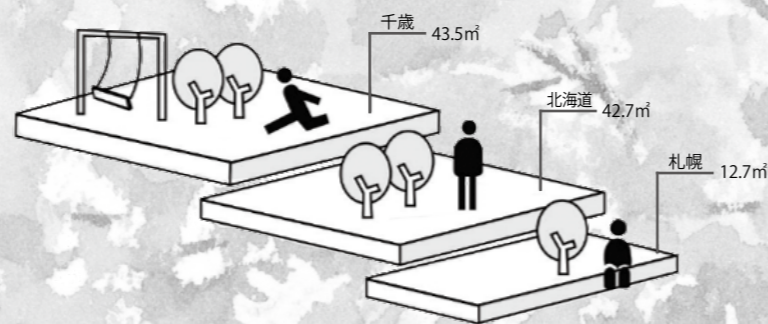
市ホームページ、市役所市政情報コーナー、図書館などで閲覧できます。ぜひお手に取ってご覧ください。

## 千歳市のみどりの現状

▼地目別面積では、山林が約半数（52.5%）を占め、宅地（3.1%）やその他（鉄道や道路など2.7%）を除いたみどりの量は、9割にのぼります。



▼市民1人当たりの都市公園面積は43.5㎡/人。北海道平均や札幌市と比べても広いです。（支笏洞爺国立公園を除く）※全国平均は、10.9㎡/人



## 市民の声

### ▼市民アンケートの結果

- 緑に関する情報提供がもっと欲しい
- 公園・緑地は「自然環境」、「休憩・飲食施設」、「トイレ」、「散策路」を充実させてほしい
- 公園の再編（集約・機能分担）については約半数が肯定的

### ▼ワークショップの結果

- 工場建設による自然環境への影響が心配
- 誰もが楽しめる施設や多様な利用ができる公園を整備してほしい
- 公園の再編（集約・機能分担）については検討が必要



《担当》  
都市整備課  
公園整備係  
TEL(24)0696  
FAX(22)8853



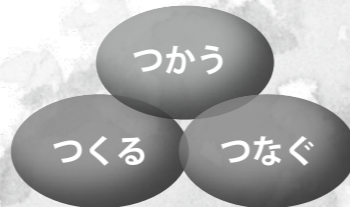
### 背景

- ・《人口減少》、《少子高齢化》、《地球温暖化》による気候変動などの**社会情勢の変化**
- ・《民間活力の導入》や《公園の再編・機能分担》など、都市公園における管理の方針についての**関係法令の改正**
- ・カーボンニュートラル都市、ネイチャーポジティブの実現、Well-beingの実感を目標とした国の「**緑の基本方針**」の策定

### 基本理念

未来へつなぐ  
豊かなみどりと清らかな水

### 基本方針



市民・事業者・市が協働してみどりを「つくっていく」、「つかっていく」、「つないでいく」ことをイメージし、3つの視点を定め、みどりのまちづくりを進めていきます。

## 市街地における 自然環境の保全と 緑化振興に係る人材の確保

（＜重点施策1＞から2つの取り組みを抜粋）

- ① ラムサール条約湿地ウトナイ湖（苫小牧市）の源流部である美々川や千歳湖を有する美々公園での自然環境の調査、水辺環境や植生などの保全。
- ② 緑化振興に関するボランティア体制の継続、市民のみどりに関わる機会の創出や情報発信の強化、新たな人材の発掘。



①美々公園（千歳湖）



②千歳駅西口花壇  
（千歳スクエアの会）

## 2

## 都市公園や公共広場の 柔軟な利活用による魅力の創出

（＜重点施策2＞から3つの取り組みを抜粋）

- ③ 設置管理許可制度やPark-PFIなど、民間企業の資金やノウハウを活用した公園施設の管理運営の推進。
- ④ 青葉公園における、貴重な自然環境の保全、利便性の向上、自然環境に配慮した公園施設の整備・活用。
- ⑤ プレーパークや花植えなど、体験・学習の場としての利活用。



④青葉公園



⑤プレーパーク



⑥市民参加型の花壇整備

## 各種媒体を活用したみどりや オープンスペースに関する情報発信の推進

（＜重点施策3＞から2つの取り組みを抜粋）

- ⑥ 緑化振興や公園緑地に関わる情報、市民団体などによるみどりに関する活動など、紙媒体やホームページ、SNSなどによるプッシュ型の情報発信や二次元コードなどを活用し、楽しくわかりやすい内容を掲載。
- ⑦ 緑化振興や公園緑地に携わる市民・事業者・市などが相互連携した情報発信。

### ⑥⑦情報発信の例



## 計画の推進

一般的な「PDCA」サイクルに市独自で設定する「+R」（記録・蓄積）を加えた「PDCA+R」サイクルにより、蓄積したデータに基づく計画の見直しや改定を行います。計画期間中は「+R」の記録を蓄積しながら施策を進め、蓄積したデータは、公園の利活用や運営状況などの評価、目標設定、取り組みの企画立案などへ広く活用します。

